

令和4年度

さいたま市地域医療研究費補助金実績報告書

研究題目

さいたま市4医師会管轄の心不全患者の病病・病診連携システム拡充のため、大宮医師会に於いて作成した心不全手帳（心不全共本）を運用し地域の心不全治療に貢献する。

研究代表者	さいたま市民医療センター	富田晴樹
共同研究者	さいたま市立病院	神吉 秀明
	関山医院	関山 裕士
	さいたま赤十字病院	松村 穰
	あさかわ内科クリニック	浅川 喜裕
	岩槻南病院	丸山 泰幸
	松本医院	松本 雅彦
	飯島医院	飯島 竜之
	須賀医院	須賀 幾
	高橋クリニック	高橋 一哲
	自治医科大学附属さいたま医療センター	藤田 英雄
	自治医科大学附属さいたま医療センター	和田 浩
	さいたま市民医療センター	百村 伸一
	さいたま市民医療センター	石田 岳史
	さいたま北部医療センター	菅原 養厚
	桃木内科クリニック	桃木 茂
	みたにクリニック	三谷 雅人
	小池内科クリニック	小池 正喜

1 研究題目

さいたま市4医師会管轄の心不全患者の病病・病診連携システム拡充のため、大宮医師会に於いて作成した心不全手帳（心不全共本）を運用し地域の心不全治療に貢献する。

2 目的

昨今は新型コロナ感染拡大禍ではあるが、さいたま市も急速な高齢化に伴い様々な心疾患の終末像である心不全が増加し、例外なく心不全パンデミックの波が押し寄せてきている。

平成30年度さいたま市地域医療研究費補助事業にて大宮医師会で実施した心不全アンケート1)でも報告したように、心不全患者の在宅医療管理は実地医家に於いて多く診療されていたが、重症心不全患者の治療は病院が担っており、大半の終末期心不全患者は病院で看取られている。この状況が続けば、急増する心不全患者に対する診療負担により、診療所側のニーズに病院側が応えられなくなる可能性が示唆される。よって、病院・診療所双方の大多数が病診連携強化の必要性を感じており、より心不全在宅治療につき理解を深め、包括的病診連携システムの構築・拡充が望まれている。そこで大宮医師会にて作成し、令和元年度さいたま市地域医療研究費補助事業にて報告した心不全指導書（心不全共本）2)を増版供給し、心不全患者治療・管理に携わるさいたま市全域のより多くの医療機関に活用して頂き、心不全診療連携を円滑に進め、かかりつけ診療所から基幹病院へ、また逆紹介に至るまでの効率の良い心不全患者管理を行うことを目的に掲げた。

3 内容・方法（共同研究者がいる時は、その役割についても説明してください。）
我々は既に大阪心不全地域医療連携の会に於いて作成した心不全連携手帳（ハートノート）3）を参考に大宮医師会主導の下で心不全指導書（心不全共本）を作成し大宮医師会所属の基幹病院である、さいたま市民医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、JCHO さいたま北部医療センターにて心不全患者の病状悪化予防のため運用を開始している。

令和3年11月3日（祝）に開催された心不全パンデミックをテーマとした、さいたま市4医師会市民公開講座4）に於いても、心不全の総論的な講話や病診連携についての講演や座談会が好評であり、大宮医師会の他、浦和医師会、さいたま市与野医師会、岩槻医師会等のさいたま市の基幹病院で心不全共本を活用したいとの希望があった。また、埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会に於ける心疾患部会でも、大宮医師会にて取り組んでいる心不全医療病診連携を県の理想的モデルに取り上げ、心不全共本を活用する事に賛同を得ている。

さいたま市4医師会の心不全病診連携を強化するため心不全共本を増版し、各医師会の基幹病院や実地医家から共同研究者として循環器専門医を推薦して頂き、各医師会所属医療機関へ配布する。医師や看護師、在宅医療に関わっている訪問看護師や介護士を対象に心不全共本を使用した診療方法についての説明会を開催し、包括的全員参加型の地域医療の役割について共に学んで頂く。また、同時に心不全ガイドライン5）に則った心不全学についての勉強会を開催し、それぞれが役割を熟知した上で円滑な連携医療の運用を目指す。

役割分担

石田岳史、富田晴樹：心不全共本運用説明、発表、総括

松本雅彦、飯島竜之、桃木 茂：渉外、顧問

百村伸一、藤田英雄：心不全医療全般に関する指導

小池正喜、三谷雅人：包括的医療連携への推進

須賀 幾、高橋一哲、和田 浩、菅原養厚：大宮医師会に於ける病病・病診連携

神吉秀明、関山裕士：浦和医師会に於ける病病・病診連携

松村 穰、浅川喜裕：さいたま市与野医師会に於ける病病・病診連携

丸山泰幸：岩槻医師会に於ける病病・病診連携

事務：さいたま市4医師会内連絡、集計

成果（添付資料）

- (1) 多職種情報パス
- (2) さいたま市補助事業 「心不全共本」 検討会
- (3) 心不全共本講演会

(1) 心不全多職種情報パス

「心不全多職種情報パス」とは急性期医療を担う地域基幹病院からかかりつけ医に患者を逆紹介する際に利用される多職種に向けた情報提供書である。さいたま市民医療センター循環器内科病棟からかかりつけ医に逆紹介する心不全患者を対象に試験的な運用を開始した。

従来、医師が記載する診療情報提供書のみでは情報伝達が不十分であるとされてきた。特に薬剤の処方意図、運動療法、食事療法の指導内容や急性増悪時の対応などが欠如していた。そこで、心不全チームとして継続してほしい治療内容を記載した「心不全多職種情報パス」、「心不全共本」に基づいた指導内容を記載した看護サマリー、心不全共本で用いられる「心不全ポイント」についての説明を記載したパンフレットを同封し、かかりつけ医療機関の医師およびメディカルスタッフ宛てに郵送するようにした。

「心不全多職種情報パス」はA4用紙1枚に基礎心疾患、左室駆出率（EF）、冠動脈疾患・大動脈弁狭窄症の有無、心不全増悪因子に加え、かかりつけ医へお願いしたい継続診療内容などで構成されている。継続診療内容に関しては、処方された心不全治療薬が一目でわかるように医薬品名の一覧とその横にチェックボックスを設け、「《チェックのある内服薬の調整は当院にご相談ください》」と表記した。また、体重管理については目標値を記載し、かかりつけ医で継続して体重管理できるようになっている。

看護サマリーには「心不全共本」を用いて指導した内容が記載されている。患者の理解度や生活背景を踏まえ、どのような指導をしたかが共有できるよう工夫した。かかりつけ医が「心不全共本」の心不全ポイントについての情報を持ち合わせていなかった場合でも理解できるよう、心不全ポイントの詳細についても記載している。

(2) さいたま市補助事業 「心不全共本」 検討会

2回の「さいたま市補助事業 心不全共本 検討会」を実施した。

(3) さいたま市補助事業「心不全共本」講演会

さいたま市補助事業「心不全共本」講演会を会場とWebのハイブリッドにて実施した。

座長：さいたま市民医療センター 副院長 石田岳史 先生

- 講演『心不全共本の運用について』
 - さいたま市民医療センター 慢性心不全看護認定看護師 富田晴樹
- 特別講演『秀和総合病院での心不全療養への取り組み～患者様と各専門職が活躍できるチーム医療～』
 - 医療法人秀和会秀和総合病院 慢性心不全看護認定看護師 木村美海 様

考察

さいたま市における心不全地域連携の確立に向けて、これまで運用してきた「心不全共本」を、より多くの多職種に理解してもらうために心不全多職種情報パスを作成し試験運用を開始した。従来、病診連携において、医師による診療情報提供書や看護師による看護サマリーを使用していた情報の共有は行われてきた。しかし、これらの情報共有は原則として同職種に宛てたものであり、実施した内容のみを伝えることを主としていた。その結果、継続してほしい治療や処方意図が伝わらず、適切な介入が継続されない事例も散見され、多職種介入のための情報共有が不十分であった。心不全患者への治療介入は長期にわたるものであり、地域での多職種連携が必須である。ゆえに、継続介入に向けた情報共有ツールの導入が求められてきた。今回、心不全共本を運用しているさいたま市民医療センターにおいて、多職種での情報共有ツールである「心不全多職種情報パス」を試験的に導入した。このツールの導入により、これまで困難であった治療や処方意図の伝達と、患者への多職種での介入情報を共有しやすくなったと考えている。この運用がさいたま市全域に普及することで、より強固な心不全地域連携体制の構築が期待される。

加えて、さいたま市内のより多くの医療・介護従事者に心不全地域連携への取り組みを理解してもらう目的で、心不全のエキスパートナースである医療法人秀和会秀和総合病院 慢性心不全看護認定看護師 木村美海 様 を講師に招いて講演会を実施した。これまで、医師会の医師への周知を目的とした、心不全共本の講演会は複数回開催されており、徐々に心不全共本の運用は浸透してきている。しかし、他地域での取り組みや医師以外の職種による取り組みは、あまり知られてこなかった。そこで、積極的に活動されている地域の取り組みを紹介することで、それぞれの地域での取り組みの特殊性を知る機会となった。それぞれの地域でブラッシュアップし、見習うところは見習って、より効果的な心不全地域連携体制を築くことができると期待している。

心不全多職種情報パス

さいたま市民医療センター4南病棟 担当看護師	担当医
------------------------	-----

患者氏名		患者ID	
基礎心疾患			EF = %
冠動脈疾患	<input type="checkbox"/> AP	<input type="checkbox"/> PCI歴	<input type="checkbox"/> CABG歴
	大動脈弁狭窄症 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
心不全増悪因子	<input type="checkbox"/> 塩分過多 <input type="checkbox"/> 内服の中断・減量 <input type="checkbox"/> 過剰労作 <input type="checkbox"/> 喫煙		
	<input type="checkbox"/> 飲酒過多 <input type="checkbox"/> 感冒・感染症 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()		

貴院(かかりつけ医)へお願いしたい継続診療内容	
投薬について	<input type="checkbox"/> 貴院からのご処方をお願いいたします <input type="checkbox"/> 当院から処方いたします その他 ()
当院へは	<input type="checkbox"/> ____カ月後に受診 <input type="checkbox"/> 再診不要
<p>貴院受診毎に下記のチェックをお願いします。</p> <input type="checkbox"/> 自己管理状況(表への記入、体重測定、内服) <input type="checkbox"/> 心不全症状 <input type="checkbox"/> 体重、血圧、脈拍 <input type="checkbox"/> その他、必要に応じて診療状況や検査結果	
<p>心不全ポイント毎にバリエーション(紹介の指針)を参考に、貴院での診療継続か当院へのご紹介のご判断をお願いします。</p>	

《チェックのある内服薬の調整は当院にご相談ください》

	心不全治療薬	薬剤名	心不全治療薬	薬剤名
標準治療薬	ARNI	<input type="checkbox"/> エンレスト	β遮断薬	<input type="checkbox"/> ビソプロロール
	ACE阻害薬	<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> カルベジロール
	ARB	<input type="checkbox"/> ()	SGLT2阻害薬	<input type="checkbox"/> フォシーガ
	MRA	<input type="checkbox"/> スピロラクトン		<input type="checkbox"/> ジャディアンス
併用治療薬	トルパプタン	<input type="checkbox"/> サムスカ	利尿薬	<input type="checkbox"/> ()
	イバブラジン	<input type="checkbox"/> コララン	ジゴキシン	<input type="checkbox"/> ()
	ベルイシグアト	<input type="checkbox"/> ベリキューボ		
その他治療薬	ワルファリン	<input type="checkbox"/> ワーファリン	抗血小板薬1剤	<input type="checkbox"/> ()
	DOAC	<input type="checkbox"/> ()	抗血小板薬2剤	<input type="checkbox"/> ()
	スタチン	<input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> ()
	その他	<input type="checkbox"/> ()	その他	<input type="checkbox"/> ()

《体重管理目標値》 至適体重： ____kg
 ※体重が ____kg以上の時は心不全ポイントに基づき対処をお願いします。

《次回当院受診予約日》 年 月 日

令和4年度 第1回さいたま市補助事業（心不全共本）

【日 時】 令和4年9月13日（火） 午後7時30分

【場 所】 ZOOM開催

- 【出席者】
1. 松本 雅彦 先生（松本医院）
 2. 飯島 竜之 先生（飯島医院）
 3. 鈴木 英彦 先生（健英会鈴木医院）
 4. 須賀 幾 先生（須賀医院）
 5. 百村 伸一 先生（さいたま市民医療センター）
 6. 石田 岳史 先生（さいたま市民医療センター）
 7. 冨田 晴樹 様（さいたま市民医療センター）
 8. 和田 浩 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 9. 菅原 養厚 先生（さいたま北部医療センター）
 10. 桃木 茂 先生（桃木内科クリニック）
 11. 三谷 雅人 先生（みたにクリニック）
 12. 高橋 一哲 先生（高橋クリニック）
 13. 神吉 秀明 先生（さいたま市立病院）
 14. 関山 裕士 先生（関山医院）
 15. 松村 穰 先生（さいたま赤十字病院）
 16. 浅川 喜裕 先生（あさかわ内科クリニック）
 17. 丸山 泰幸 先生（岩槻南病院）

計17名 他事務1名

【議 題】

1.今年度の内容について

令和元年度のさいたま市補助事業にて大宮地区にて検討作成した、心不全共本をさいたま市全域で運用する。その為の、運用方法等について検討していく。

2.これまでの経緯報告

さいたま市民医療センターにて、心不全共本の活用方法・実績について報告いただき、今後の運用拡大について検討する。

*次回(第2回)打合せ会日程：10月13日（木）

10月25日（火）、11月4日（金）

いずれかで行いたい。各委員に予定を確認頂く（ZOOMにて行う）

議題：心不全共本の今後の運用方法について等

令和4年度 第2回さいたま市補助事業（心不全共本）

【日 時】 令和4年10月25日（火） 午後7時30分

【場 所】 ZOOM 開催

- 【出席者】
1. 松本 雅彦 先生（松本医院）
 2. 飯島 竜之 先生（飯島医院）
 3. 鈴木 英彦 先生（健英会鈴木医院）
 4. 須賀 幾 先生（須賀医院）
 5. 石田 岳史 先生（さいたま市民医療センター）
 6. 富田 晴樹 様（さいたま市民医療センター）
 7. 和田 浩 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 8. 藤田 英雄 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 9. 小池 正喜 先生（小池内科クリニック）
 10. 桃木 茂 先生（桃木内科クリニック）
 11. 高橋 一哲 先生（高橋クリニック）
 12. 神吉 秀明 先生（さいたま市立病院）
 13. 浅川 喜裕 先生（あさかわ内科クリニック）
 14. 丸山 泰幸 先生（岩槻南病院）

計14名 他事務1名

【議 題】

1. DVDによる共本の周知・配布について

さいたま市民医療センターにて作成した、心不全共本の活用方法について紹介。

今後の周知については、YouTubeを活用していく予定。

浦和、与野、岩槻への配布分2,000部を印刷する。（浦和1,000部、与野・岩槻各500部）

大宮については、残っている部数を再配分していく。

2. 今後の補助事業の予定について

補助事業講演会を令和4年1月に開催する。日程については候補日より決定。演者について「案」があったら大宮医師会に1週間位の間で報告する。医師会より協力者へ周知。

次回は、令和5年1月に対面で開催予定

*次回(第3回)打合せ会日程：1月中旬

講演会日程：1月13日（金）

1月16日（月）

1月30日（月）

2月 2日（木）のいずれかで開催予定（会場を借用する）

令和4年度 第3回さいたま市補助事業（心不全共本）

【日 時】 令和5年1月13日（金） 午後7時30分

【場 所】 大宮医師会 大会議室

- 【出席者】
1. 松本 雅彦 先生（松本医院）
 2. 飯島 竜之 先生（飯島医院）
 3. 鈴木 英彦 先生（健英会鈴木医院）
 4. 須賀 幾 先生（須賀医院）
 5. 石田 岳史 先生（さいたま市民医療センター）
 6. 百村 伸一 先生（さいたま市民医療センター）
 7. 冨田 晴樹 様（さいたま市民医療センター）
 8. 和田 浩 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 9. 藤田 英雄 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 10. 菅原 養厚 先生（さいたま北部医療センター）
 11. 三谷 雅人 先生（みたにクリニック）
 12. 小池 正喜 先生（小池内科クリニック）
 13. 桃木 茂 先生（桃木内科クリニック）
 14. 高橋 一哲 先生（高橋クリニック）
 15. 神吉 秀明 先生（さいたま市立病院）
 16. 関山 裕士 先生（関山医院）
 17. 浅川 喜裕 先生（あさかわ内科クリニック）
 18. 松村 譲 先生（さいたま赤十字病院）
 19. 丸山 泰幸 先生（岩槻南病院）

計19名 他事務1名

【議 題】

1. 補助事業講演会について

医療法人秀和会 秀和総合病院

慢性心不全看護認定看護師 木村美海 様 に講師を依頼する。

冨田さんの、共本についての講演と二つの講演になる。

2. 今後の補助事業の予定について

今後は、共本の各医師会での利用方法等検討する

次回は、令和5年2月6日に開催予定。

*次回(第4回)打合せ会日程：2月初旬

講演会日程：1月30日（月）

開催予定（会場を借用する）

令和4年度 第4回さいたま市補助事業（心不全共本）

【日時】 令和5年2月6日（月） 午後7時30分

【場所】 大宮医師会 大会議室

- 【出席者】
1. 松本 雅彦 先生（松本医院）
 2. 飯島 竜之 先生（飯島医院）
 3. 鈴木 英彦 先生（健英会鈴木医院）
 4. 須賀 幾 先生（須賀医院）
 5. 石田 岳史 先生（さいたま市民医療センター）
 6. 百村 伸一 先生（さいたま市民医療センター）
 7. 富田 晴樹 様（さいたま市民医療センター）
 8. 和田 浩 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 9. 藤田 英雄 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 10. 菅原 養厚 先生（さいたま北部医療センター）
 11. 三谷 雅人 先生（みたにクリニック）
 12. 小池 正喜 先生（小池内科クリニック）
 13. 桃木 茂 先生（桃木内科クリニック）
 14. 高橋 一哲 先生（高橋クリニック）
 15. 神吉 秀明 先生（さいたま市立病院）
 16. 関山 裕士 先生（関山医院）
 17. 浅川 喜裕 先生（あさかわ内科クリニック）
 18. 松村 譲 先生（さいたま赤十字病院）
 19. 丸山 泰幸 先生（岩槻南病院）

計19名 他事務1名

【議題】

1. 補助事業講演会について

講演会の反省等

今後の、心不全共本の運用について各医師会での検討

2. 今後の補助事業の予定について

さいたま市への報告書・内容の確認等検討する

次回は、令和5年2月中旬に持ち回りにて実施。

*次回(第5回)打合せ会日程：2月中旬
(持ち回り開催)

令和4年度 第4回さいたま市補助事業（心不全共本）

【日 時】 令和5年2月15日（水） 持ち回り開催

【場 所】 持ち回り開催

- 【出席者】
1. 松本 雅彦 先生（松本医院）
 2. 飯島 竜之 先生（飯島医院）
 3. 鈴木 英彦 先生（健英会鈴木医院）
 4. 須賀 幾 先生（須賀医院）
 5. 石田 岳史 先生（さいたま市民医療センター）
 6. 百村伸一 先生（さいたま市民医療センター）
 7. 冨田 晴樹 様（さいたま市民医療センター）
 8. 和田 浩 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 9. 藤田 英雄 先生（自治医科大学附属さいたま医療センター）
 10. 菅原 養厚 先生（さいたま北部医療センター）
 11. 三谷 雅人 先生（みたにクリニック）
 12. 小池 正喜 先生（小池内科クリニック）
 13. 桃木 茂 先生（桃木内科クリニック）
 14. 高橋 一哲 先生（高橋クリニック）
 15. 神吉 秀明 先生（さいたま市立病院）
 16. 関山 裕士 先生（関山医院）
 17. 浅川 喜裕 先生（あさかわ内科クリニック）
 18. 松村 讓 先生（さいたま赤十字病院）
 19. 丸山 泰幸 先生（岩槻南病院）

計19名 他事務1名

【議 題】

1.さいたま市への報告書作成・内容確認について

事前に配布した、心不全共本についてのさいたま市への報告書の内容確認を行う。

会員各位

さいたま市地域医療研究費補助事業
代表 富田 晴樹

「さいたま市地域医療研究費補助事業 心不全共本講演会」のご案内

この度、さいたま市4医師会の心不全患者の病病・病診連携システム拡充のため、作成した心不全手帳（心不全共本）を運用し地域の心不全治療に貢献することを目的とした「さいたま市地域医療研究費補助事業講演会（心不全共本）」を会場+WEB配信にて開催致します。

また、講師に慢性心不全看護認定看護師 木村美海様をお迎えし、普段、聞くことがなかなかできない「エキスパートナース目線」での心不全治療についての講演をお願い致しました。

高齢化に伴い待ち構える心不全パンデミックを前に、心不全患者について意見交換できる場としても考えております。今後、包括的医療が必要とされる心不全、医師会員の先生方を始め、看護師、理学療法士、医療事務など多職種の方々におかれましても、多数ご出席頂ければ幸いです。

記

【日 時】 令和5年1月30日（月） 午後7時30分～

【会 場】 清水園+WEB（ZOOM ミーティング）
埼玉県さいたま市大宮区東町2丁目204
TEL：048-643-1234

【講 演】 『心不全共本の運用について』

【講 師】 さいたま市民医療センター 慢性心不全看護認定看護師 富田晴樹 様

【特別講演】 『秀和総合病院での心不全療養への取り組み
～患者様と各専門職が活躍できるチーム医療～』

【講 師】 医療法人秀和会 秀和総合病院
慢性心不全看護認定看護師 木村美海 様

【座 長】 さいたま市民医療センター 副院長 石田岳史 先生

■WEBで参加される方（ZOOM ミーティング）

1. 申し込み締め切りは1月25日（水）とさせていただきます。
お申込み頂いたメールアドレスへ1月26日（木）にURLをお送り致します。
メールが届かない場合は1月27日（金）迄に、大宮医師会 代（048-663-5633）迄ご連絡下さい。
2. 当日は午後7時頃から入室出来る予定です。
3. ご参加された際の表示名を芳名録の代わりとさせていただきます。

[担当：代]

「さいたま市地域医療研究費補助事業 心不全共本講演会」
(WEB＋会場)

(令和5年1月30日(月) 午後7時30分～)

■WEBで参加する方は zoom@omiyamed.com に送信

※件名に参加される会の名称「1/30 さいたま市地域医療研究費補助事業 心不全共本講演会」、医療機関名(施設名)・お名前をご記入の上、上記メールアドレスに送信して下さい。
(メールアドレスは今回の講演会以外で使用することはありません)

■清水園の会場で参加する方は、

こちらの申込書でお知らせ下さい。

※FAXでも結構です。(FAX番号：651-5685)

医療機関名(施設名)

ご氏名

WEB講演のため、ご質問は事前にお預かりすることもできます。

「さいたま市地域医療研究費補助事業 心不全共本講演会」

次 第

開催日： 令和5年1月30日（月）午後7時30分～

会 場： 清水園

司 会 さいたま市民医療センター
 副院長 石田岳史 先生

開会の挨拶 大宮医師会会長 松本雅彦 先生

講 演 『心不全共本の運用について』（15～20分）

講 師 さいたま市民医療センター 慢性心不全看護認定看護師 富田晴樹 様

特別講演 『秀和総合病院での心不全療養への取り組み（50分）

～患者様と各専門職が活躍できるチーム医療～』

講 師 医療法人秀和会秀和総合病院 慢性心不全看護認定看護師 木村美海 様

座 長 さいたま市民医療センター 副院長 石田岳史 先生

挨 拶 あさかわ内科クリニック 院長 浅川喜裕 先生

質疑応答

閉会の挨拶 大宮医師会副会長 飯島竜之 先生

参加者	会 場	7名
	WEB	53名
	合 計	60名